

私たちはあなた方を見続けている

グレタ・トゥーンベリ

(翻訳 細井明美)

私が伝えたいことは、私たちはあなた方を見続けているということですよ。

すべて間違っています。私はここに居るべきじゃない。海の向こうの学校に戻るべきなのです。皆さんは私たち若者に希望を求めてここに来ているのですか？ よくもまあ！ あなた方は私の夢と私の子ども時代を空疎な言葉で奪いました。それでも私は幸運な人間の一人です。人々は苦しんでいる。人々は死にかけている。生態系全体が崩壊しつつある。我々は大量絶滅の始まりにいる。それなのに、あなた方が話していることはすべてお金と経済成長のおとぎ話です。よくもまあ！

30年以上にわたり、科学は明らかにしてきました。目をそらし続け、必要な政策と解決策にまだ見通しがたっていないのに、あなた方は十分にやっていると、よくも言えますね。

あなた方は私たちの言葉を「聞いている」と言い、緊急性を理解していると言う。しかし、どれほど私が悲しみ怒っているか、もはや私は信じたくありません。状況を完全に理解しても、なおかつ行動を起こさないならば、あなた方が悪いのです。だから私は信じることを拒否します。

10年間で（二酸化炭素の）排出量を半減させるというアイデアでは、（気温上昇が）1.5℃以下にとどまる確率は50%に過ぎず、しかも人間のコントロールを超えた不可逆的な連鎖反応を引き起こすリスクがあります。

たぶんこの50%という数字はみなさんに受け入れられるでしょう。しかし、これらの数字には、（気候変動が進む）転換点、相乗効果、有毒な大気汚染に隠されたさらなる温暖化、正義・公正さの側面は含まれていません。あなた方はまた、自分たちが排出した数千億トンの二酸化炭素を、私や私の子どもたちの世代が、新しい技術で解決するだろうと当てにしています。しかもその技術はまだ存在さえしていないのに……。50%のリスクは、その結果とともに生きたければならない私たちには簡単に受け入れられるものではありません。

気候変動に関する政府間パネルが示す1.5℃以下の気温上昇にとどまる可能性の最高値は67%です。しかし2018年1月1日の時点で、二酸化炭素の排出許容量は420ギガトンしかありませんでした。しかも今日では、すでに350ギガトン以下に減少しています。よくもまあ、なんら変わりばえしない解決策と技術で解決できるふりができますね。今の排出レベルでは、二酸化炭素の排出許容量は8年半以内に完全にゼロになってしまいます。

今日、これらの数字に沿った解決策や計画はいまだ提示されていません。なぜなら、これらの数字はあなた方にとつてあまりにも不都合だからです。そして、あなた方は現状をありのままに伝えるほど成熟していません。

あなた方には失望しました。けれど若者たちはあなた方の裏切りに気づき始めています。未来の世代のすべての目があなた方に注がれています。それでもなお私たちを裏切るなら、「私たちは決してあなた方を許さない」と言うっておきます。今、ここで、あなた方とは一線を画します。世界は目覚めつつあり、好むと好まざるとに拘らず、変化が起こりつつあります。

ありがとうございます。

(2019年9月23日、国連気候行動サミットにて)

グレタ・トゥーンベリ

2003年、スウェーデンに生まれる。環境活動家。ノーベル化学賞受賞者のスヴァンテ・アレニウスは親戚。15歳の時にたった1人でスウェーデン議会の前で「気候変動」のための抗議を始める。そして世界中の学生たちにストライキを呼びかけ、これまでに2万人以上の学生が270の都市でストライキを行なっている。2019年9月、大西洋をソーラーパネル装備のヨットで横断し、ニューヨークの「国連気候行動サミット」でこのスピーチを行ない、世界から注目された。

▼表紙絵の作者▲



原田新
(はらだ・あらた)

1919 (大正8) 年3月16日、山口県徳山市に8人兄弟姉妹の長男として生まれる。県立徳山中学校在学中に肺浸潤を患い2年休学するが、1937 (昭和12) 年4月東京美術学校の油画科入学、1941 (昭和16) 年12月繰り上げ卒業。1942 (昭和17) 年12月末、西部第4部隊より海南派遣猛第5169部隊に入営し、1943 (昭和18) 年8月7日、ニューギニア島近海において戦死。享年24。